



# フリーマン シートワックス

## (FREEMAN SHEET WAX)

フリーマン シートワックスをご使用頂きまして誠にありがとうございます。

下記に製品に関する説明ならびにご使用上のヒント等を列記いたしましたのでご参考になれば幸いです。

### 1. フリーマン シートワックスの特性

- ・ 優れた表面硬さを保持するにもかかわらず良好なドレープ特性、即ち複雑な型の形状にもしっくり副う柔軟性を持っています。
- ・ 低温から高温における温度差による特性の変化が少ないので夏季、冬季のご使用に特別な配慮を必要と致しません。
- ・ 伸びが非常に少ないので、かなり力を入れて型に副わせても均一な肉厚を得る事が出来ます。
- ・ 融点は約130℃(266°F)ですから、樹脂型製作時の発熱温度には十分に耐えます。

### 2. フリーマン シートワックスの種類

- ・ 標準サイズは約305mm×610mm(12インチ×24インチ)で厚さ及び包装枚数は下記の通りです。

厚さ	1箱の枚数	厚さ	1箱の枚数
0.2mm	10枚	1.5	8枚
0.3	10枚	1.6	8枚
※0.4	10枚	1.8	8枚
0.5	10枚	※1.9	8枚
0.6	10枚	2.0	8枚
0.7	10枚	※2.4	6枚
0.8	8枚	2.5	6枚
※0.9	8枚	※2.8	4枚
1.0	8枚	3.0	4枚
1.2	8枚	※3.5	4枚
1.4	8枚	4.0	4枚
		5.0	3枚



○ 厚みの公差は±0.025mm

※ 0.4、0.9、1.9、2.4、2.8、3.5等その他の特殊厚みは  
受注輸入の為、納期が2～3ヶ月かかります。

(5箱単位にて承ります)

### 3. ご使用上のヒント

1. 木型、樹脂型、金型等シートワックスが貼り付けられる表面は水分、油分やゴミ等の付着物を拭い取り、接着しやすい状態にします。
2. シートワックスの裏面の離型紙は、接着する直前まではがさないようにして下さい。  
また、接着する際には端の方から順に離型紙をめくり、空気を追い出すようにしながら型の表面に貼り付けるようにします。  
上手く貼り付けるには柔らかい布切れにワセリンをつけて擦るようにしたり、石鹼液を使用したり、シートワックスの離型紙を使用したりして擦りつけます。
3. 曲面に副わせる為に重なる部分を鋭利な刃物で切り取った後、合わせ部分の隙間を出来るだけ小さくなるように貼り付ける事が肝要です。  
この作業がシートワックスを貼る工程の中でも一番難しい部分です。
4. 特別な厚さを得る為にシートワックスを重ね貼りする場合は、あらかじめ2枚のシートワックスを平坦な台の上で貼りあわせてから型の方へ通常の方法で施工するようにした方が良好な結果をもたらします。
5. シートワックスの継ぎ目を埋めるには普通、油粘土、フリーマン補修用ワックスなどを使用します。  
また、刃物で切り取った縁は厚さが変わっていますのでカンナ、ノミ、ナイフ等で凸部を削り取り平坦にします。
6. エポキシ樹脂を使用される場合、シートワックスの表面に特別な離型処理を施す必要はありませんが、ポリエステル樹脂をシートワックス上に直接塗布される場合は前処理をしておいた方が無難です。  
ワセリン等が残っている場合にはポリエステルが硬化しない場合もあります。  
また、ポリエステルゲルコートがはじいて均一に塗布しにくいこともあります。
7. 薄いフィルム状の離型膜をシートワックスの上に施しておく、前述の問題を解決すると同時に完成した型の表面からシートワックスを取り除く際にも便利です。

### 4. 保存

- ・気温が零度以下になる、或いは湿度の高い場所における保管は裏面の接着剤の強度を劣化させます。尚、10箱入りのカートン箱は防水加工が施されていますので長期保存の場合は同カートンに入れ保管される方が安全です。

以上、とりあえず商品の説明とご使用上のヒントをまとめてみましたが、各需要家各位でご不明な点がありましたら、下記、もしくは取り扱い代理店までお問合わせ下さい。

(代理店)



日本フリーマン (株)

FREEMAN (JAPAN) CO., LTD.

〒226-002 横浜市緑区東本郷 4-12-9

TEL : 045-473-3580 FAX : 045-473-3656

URL: <http://www.freeman-japan.co.jp>